



# ガス給湯暖房機

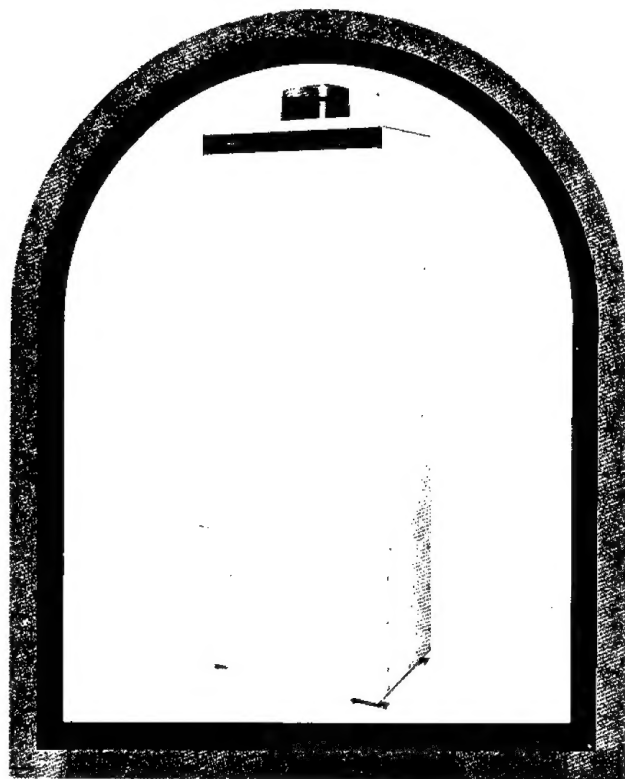
シンプルシステム〈エックス  
グラッド〉

## 取扱説明書

44-900型

保証書付

型式 GS-R552D



●ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

### ごあいさつ

このたびは、大阪ガス給湯暖房シンプルシステム  
(エックス  
グラッド)をお求めいただきありがとうございます。  
ました。

この取扱説明書をよくお読みいただきまして、正  
しくご愛用ください。またこの取扱説明書は保証  
書といっしょに大切に保管してください。万一お  
使いになっているうちにわからないことがござい  
ましたら、今一度お読み返してください。

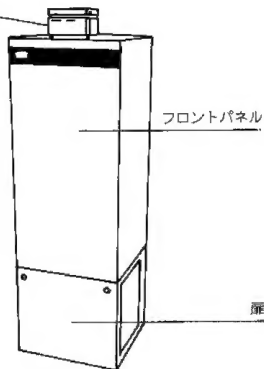
### も く じ

	ページ
●各部の名称	1
●特に注意していただきたいこと	2
●使用手順	4
●凍結防止について	8
●安全装置が作動したときの処置方法	10
●日常の点検・手入れ	12
●故障・異常の見分け方と処置方法	13
●仕様表	14
●長期間使用しない場合	15
●アフターサービスのお申し込み	16

## 各部の名称

### 44-900(屋外用)

給排気トップ  
(RFTトップ)

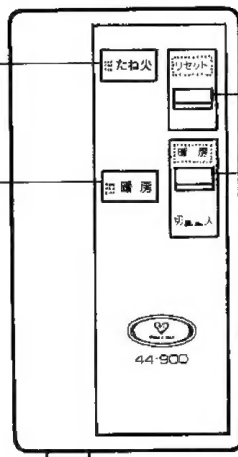


給湯たね火ランプ(赤色)

お湯を出すとき点灯します。  
使用後も15分だけ点灯します。

暖房燃焼ランプ(赤色)

暖房のバーナが燃焼しているとき点灯します。



リセットスイッチ

器具が作動しなくなった時押してください。

暖房スイッチ

暖房を使用するとき「入」にしてください。  
マルチコントロールシステムの場合は「切」のままでご使用ください。

## 特に注意していただきたいこと①

安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。

### 使用ガスについてのご注意

- 器具(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。表示のガス種類とお宅のガスが一致していることをお確かめください。

[注] この部分をご確認ください。



メーカー型式

ガスの種類およびグループ

ガス消費量

製造年月 および製造番号

製造業者名

使用電源

消費電力

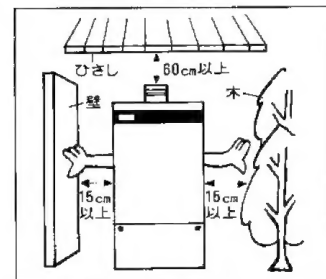
- 都市ガス用 6C
- 都市ガス用 6A
- 都市ガス用 13A
- LPガス用

### 使用電源についてのご注意

- 器具(銘板)に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。

### 使用場所についてのご注意

- 壁、その他の可燃物から十分離れていない場所で使用してください。
- 屋外専用の熱源機です。屋内には絶対取り付けしないでください。排気ガスが充満して危険です。



### (1)用途についてのご注意

- 本器具は給湯と暖房がおのおの独立してご使用いただけますが給湯側は給湯だけに、暖房側は暖房だけにご使用ください。
- 給湯側器具に長時間たまっていた水は、飲用又は調理に用いないでください。

### (2)ガス漏れ予防

- 配管や熱源機との接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで調べてください。
- 使用時の点火、消火はメインコントローラの暖房燃焼ランプ、給湯たね火ランプで確認してください。
- 長時間使用しないときは、必ず電源スイッチを切り、ガス元せんを開めてください。

### (3)火災予防

- 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。
- 給排気トップの上にタオル、ふきんなどをのせないでください。

### (4)火傷のご注意

- 使用中および使用直後は器具があつくなっておりますので手を触れないようにしてください。特に給排気トップ部は高温になっておりますので絶対に手を触れないでください。

### (5)ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用をやめてガス元せんを閉じてからお買い求めの大阪ガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- 万一ガスが漏れたときは火をつけたり、電気器具のスイッチ操作は絶対にしないでください。火や火花で引火し爆発事故をおこすことがあります。

### (6)異常時の処置

- 万一異常燃焼を起したときや、緊急の場合にはあわてず湯を止め、暖房を停止し、ガス元せんを閉じて、お買い求めの大阪ガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社に連絡してください。

## お願いしたいこと③

### (7)凍結についてのご注意

- 冬期には8～9ページに記す方法で凍結の防止をおこなってください。

### (8)停電のとき

- 停電の場合、器具は自動的に運転を停止し、通電されれば再び運転を始めます。給湯使用時は水になります。給湯をご使用の場合（特に浴槽にお湯を入れている場合）はすぐに湯せんを閉めてください。

### (9)断水のとき

- 給湯はご使用になれませんが、暖房はそのままご使用いただけます。

### (10)ガスの供給が止ったとき

- 自動的にガス通路が遮断されます。ガスの供給が再開されてもそのままでは運転しません。一旦メインコントローラのリセットスイッチを押してください。

### (11)補助用具使用について

- 標準付属品、別売付属品以外の補助用具は使用しないでください。

## 使用手順①

### 点火前の準備と確認

1. 給水元せんを全開にしてください。



器具の下部

2. 給湯せんを開け、水の出ることを確認してから開めてください。



お湯の使用場所

3. 器具用のブレーカを「入」にしてください。



ブレーカ

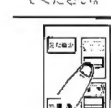
室内の分電盤

4. ガス元せんを全開にしてください。



器具の下部

5. メインコントローラのリセットスイッチを押してください。



メインコントローラ

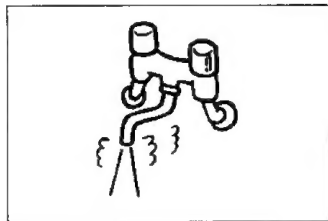
## 使用手順②

### 給湯の使い方

#### 点火

##### ① 給湯せんを開けます

給湯せんを開くと器具は自動的に点火し湯がでます。  
(給湯たね火ランプ(赤色)が点灯します。)

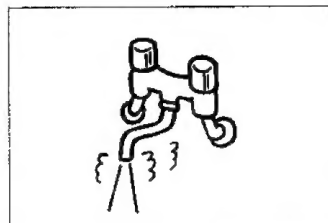


##### ② 湯温および湯量の調節

給湯せんで湯温、湯量を調節してください。

(ご注意)

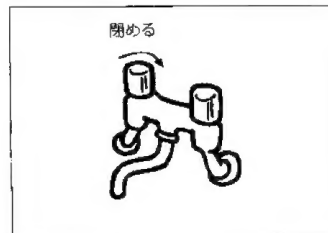
器具は60℃の湯が出るよう調節しております。湯温を変更されたい場合、お買い求めの大阪ガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。



#### 消火

##### ① 給湯せんを閉めます

- お湯が止まり、メインバーナーが消火します。
- メインバーナーの消火後、約15分間は、パイロットバーナーのみ燃焼し、排気ファンは運転状態となっており給湯たね火ランプも点灯しています。これは、再使用時の点火をより早くするためのものです。



## 使用手順③

(約15分経過後、自動的にパイロットバーナーも消火し、排気ファンの運転が止まります。)

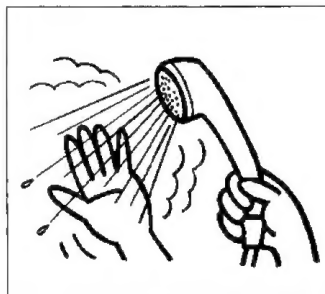
- 次にお使いになるときは、給湯せんを開けるだけでメインバーナーに着火してお湯が出てきます。

##### ② 長時間使用しない場合

- ガス元せんを開めてください。

[注]

- 給湯せんで湯量を調節しますと、水の中の空気が分離して、気泡となり、湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。
- シャワーをご使用のときは、手で湯温を確認してからお使いください。
- 2カ所で同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中は同時使用にご注意ください。



### 暖房の使い方

##### ① 暖房運転の準備と確認

- 暖房配管、元バルブが全開になっていることを確認してください。

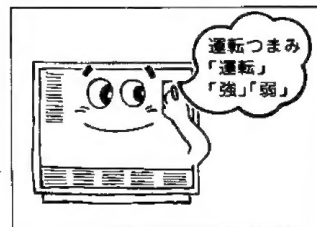
#### 点火

##### ① 放熱器のスイッチを入れる。

- 暖房する部屋の放熱器のスイッチを入れてください。器具は自動的に点火し暖房を開始します。

(ご注意)

- メンコンローラの暖房スイッチは「切」のままでご使用ください。
- メインバーナー燃焼中は暖房燃焼ランプ(赤色)が点灯します。



## 使用手順④

### ②室温の調節

- 放熱器の切替つまみまたはルームサーモスタットで行なってください。  
(ご注意)
- 放熱器により操作方法が異なります。放熱器の取扱説明書をご覧ください。

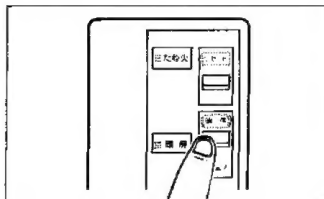
### ③消火

- 放熱器のスイッチを切ってください。器具は自動的に運転を停止します。  
※マルチコントロールシステムになっていない場合。

### 点火

#### ①メインコントローラの暖房スイッチを「入」にする。

- メインコントローラの暖房スイッチを「入」にしてください。
- 器具は自動的に点火し暖房燃焼ランプ(赤色)が点灯します。



#### ②放熱器のスイッチを入れる。

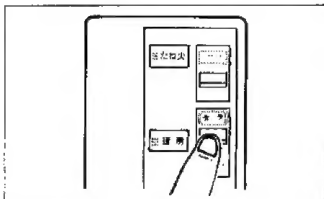
- 暖房する部屋の放熱器のスイッチを入れてください。

### ③室温の調節

- 放熱器の切替つまみまたはルームサーモスタットで行なってください。

### ④消火

- メインコントローラの暖房スイッチを「切」にしてください。
- 放熱器のスイッチを切ってください。



## 凍結防止について①

暖かい地域でご利用のお客様も必ずお読みください。

### 凍結防止について

- 冬期は急な寒気により器具内の水が凍って器具をいためることがあります。
- この器具は給湯用と暖房用の熱交換器があります。従いまして凍結防止操作は給湯側と暖房側の両方について行なってください。

### 凍結防止方法

#### 給湯

##### ①凍結防止ヒーターによる方法

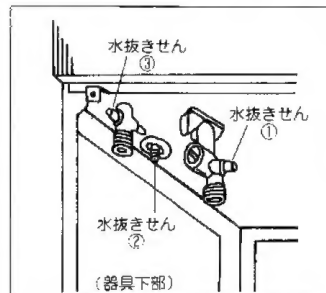
- この器具には、外気温が0℃近くになるとサーモスタットの働きで自動的に器具内を保温する凍結防止ヒーターを組み込んでいます。
- 凍結防止ヒーターは分電盤のブレーカが「切」になっていると作動しません。絶対にブレーカを「切」にしないでください。
- 凍結防止ヒーターは、運転スイッチの「入・切」に関係なく作動します。  
(ご注意)
- 外気温が極端に低く(無風時で-10℃以下)になりますと、この凍結防止ヒーターだけでは凍結する場合があります。通常の場合は②による方法、長期不在等の場合は③による方法を行なってください。

##### ②給湯せんから水を流す方法

- お風呂場の給湯せんを開け、1分間に約200cc(牛乳びん1本ぐらい)の水を浴そうに流し込んでください。
- 流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量をご確認ください。

##### ③水抜きによる方法

- 下記の手順で給湯側熱交換器の水抜きしてください。
- ①ガス元せんを開めてください。
- ②給水元せんを開めてください。
- ③すべての給湯せんを開いてください。
- ④水抜きせん①②③をゆるめて水を抜いてください。



## 凍結防止について②

### ●水抜き後の再使用方法

- ①水抜きせん①②③を元どおり閉じてください。
- ②給水元せんを開きすべての給湯せんより水の出ることを確認してください。
- ③すべての給湯せんを閉じ、器具、配管等から水漏れのないことを確認してください。
- ④ガス元せんを開きご使用ください。

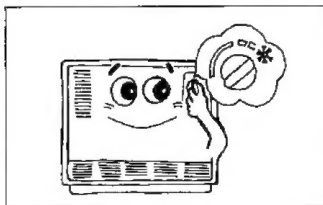
### 暖房

- 冬期外気温が0℃以下になりますと熱源機や温水回路内の水が凍結し、破損することがあります。  
配管や熱源機が破損しますと、水漏れなどで多大な被害を引き起こしますので、必ず不凍液を注入してください。暖房水に不凍液を使用することで凍結が防止できます。
- 不凍液の濃度が下がってきますと、凍結防止の効果が弱くなってきますので、厳冬期には以下の操作をお願いします。

(1)暖房スイッチを「切」にしてください。

(2)各部屋のすべてのファンコンベクターの操作つまみを「※」にしてください。

(詳細については、ファンコンベクターの「取扱説明書」に従ってください。)



[注] ※分電盤のブレーカは「切」にしないでください。気温が低いときは、自動的にポンプが回り凍結を防止します。

※自動凍結防止運転が必要な季節には絶対にガスの元せんを開めないでください。

### ●不凍液について

- 不凍液は大阪ガス指定のものをご使用ください。指定以外の不凍液はシステムに悪影響を与える場合がありますのでご使用にならないでください。
- 不凍液濃度は地域、設置場所、気温などにより異なります。めやすとしてはファンコンベクター1台の場合は2缶です。(1缶は1ℓです。)
- 適正濃度を保つため1年に一度は暖房水全体を入れかえ不凍液を新たに注入する必要があります。不明な点はもよりの大阪ガスサービスショップもしくは、大阪ガス支社までご連絡ください。

## 凍結防止について③

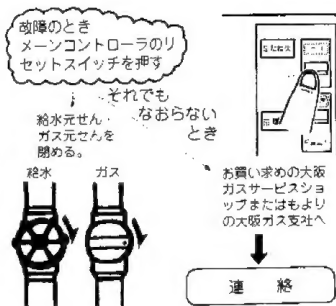
### 凍結したとき

- 凍結した場合、ガス元せん・給水元せんを閉めてください。凍結したままお使いになりますと器具に異常が生じる場合があります。解凍するまでご使用をひかえてください。
- 凍結が解けた後、水漏れがないのを確かめのうえご使用ください。
- 器具や配管が破損しますと、高額な修理費用がかかる場合があります。(有料)  
※保証期間内であっても費用を頂きます。

## 安全装置が作動したときの処置方法①

### 処置について

器具が運転できないとき、使用中に停止したときはメインコントローラのリセットスイッチを押してください。それでも使用できないときは13ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってください。また、次の安全装置が働いた場合には、ガス元せん・給水元せんを開めてからお求めの大阪ガスサービスショップまたはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。



### 給湯パイロット安全装置

パイロットバーナーの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まり、給湯たね火ランプ(赤色)が消えます。このような場合は、メインコントローラのリセットスイッチを押し再点火してください。

### 空だき防止装置(給湯)

給湯回路の通水量が2ℓ/分以下のときは流水スイッチの働きにより器具は運転しません。

### 空だき防止装置(暖房)

暖房回路の水が減りますと水位スイッチが作動して自動的に運転が止まり空だきを防止します。

本器具は自動給水装置を内蔵しておりますので正常の場合は自動的に暖房水を補給します。

### 空だき安全装置(給湯・暖房)

万一、メインバーナーの炎が消えずに、湯温が異常に上昇したときはガスを自動的にストップします。

### 過熱防止装置

万一、器具が異常に温度上昇したときはガスを自動的にストップします。

### 電流ヒューズ

過電流が流れますと、自動的に運転を停止します。

### 過圧逃し弁(給湯)

器具内の水圧が異常に上昇したときに作動し、器具内の圧力を下げて、器具の損傷を防止します。

### 停電時安全装置

使用中に停電になるとガスを自動的にストップし、運転が止まります。

### ファン回転検知装置

ファンが所定の回転数以上で回らなくなったとき、検知装置が働いて、自動的にガスを止め、運転が止まります。

### 凍結予防ヒーター(給湯)

給湯回路の凍結を防止するために、低温になると働きます。詳しくは、8ページをお読みください。

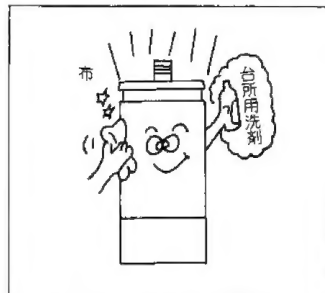
### 暖房バーナー安全装置

暖房メインバーナーの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。

点検・手入れの前には、必ず給水元せんとガス元せんを開め、電源プラグを抜いて、器具が冷えてから行なってください。

- 器具および配管より水漏れ・ガス漏れはありませんが。  
(ガス漏れは、配管接続部に石けん水などをつけて調べてください。)
- 運転中に、器具から異常音が聞こえませんか。
- 器具の外観に異常は見られませんか。
- 器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。

- 器具の表面が汚れたときは、布またはスポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふきとってください。  
シンナー・ベンジンなどではふかないでください。  
(ご注意)
- メインコントローラの内部には電気部品が入っていますので、ぬらさないようにしてください。



### 保守契約制度

保守契約制度(有料)に加入していただくと不凍液の入れ替え、定期点検を専門家が責任をもって行います。この保守契約につきましては、お買い求めの大阪ガスサービスショップまたはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

# 故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止され、十分な点検をしてください。

■故障・異常の見分け方と処置方法について(○=主要原因、△=原因)									
現象	原因	処置方法	お	き	ま	大	東	カ	サ
ブレーカが「入」になっていない	○	ブレーカを「入」にする	*			大	東	カ	サ
ガス元せんの開き不十分	△	ガス元せんを全開にする	*			大	東	カ	サ
給湯せんの開き不十分	△	給湯せんを絞る	*			大	東	カ	サ
配管内に空気が残っている	△	点火操作を繰り返す	*	*		大	東	カ	サ
ガス圧が適切でない	低 い 高 い	他の器具も同様の場合は点検を依頼する (他に原因がないとき)	*	*		大	東	カ	サ
給湯元せんの開き不十分	○	給湯せんをいったん閉めてから 給湯元せんを全開にする	*			大	東	カ	サ
水圧が適切でない	低 い 高 い	点検を依頼する (他に原因がないとき)	*			大	東	カ	サ
水フィルターの詰まり	△	詰まり除去または依頼する	*			大	東	カ	サ
断水している	△	給湯使用をいったん中止する	*			大	東	カ	サ
凍結している	△	解冻するまで使用を中止する	*			大	東	カ	サ
バーナー・炭口の詰まり 空気吸込口の詰まり	△	点検を依頼する	*			大	東	カ	サ
熱交換器の目詰まり	△	点検を依頼する	*			大	東	カ	サ
湯温調節が適切でない	△	使用方法(湯温調節)を参照する	*			大	東	カ	サ
給湯せんの開き不足	△	給湯せんを全開にする	*			大	東	カ	サ
ノズルの詰まり	△	点検を依頼する (他に原因がないとき)	*			大	東	カ	サ
安全装置が作動した	△	点検を依頼する (度々作動する場合)	*			大	東	カ	サ
流水スイッチの故障	△	点検・修理・部品交換を依頼する (他に原因がないとき)	*			大	東	カ	サ
電気部品の故障	△	点検を依頼する	*			大	東	カ	サ
ポンプが回転しない	△	点検を依頼する	*			大	東	カ	サ
水フィルターまたは ポンプのごみ詰まり	△	点検を依頼する	*			大	東	カ	サ
暖房補助装置の故障	△	点検を依頼する	*			大	東	カ	サ
燃焼用ファンが回転しない	△	点検を依頼する	*			大	東	カ	サ

機 種 名	瞬間式給湯暖房機		
型 式 名	GS-R552D		
品 名	44-900		
種 類	給 湯 方 式	先止式	
	暖 房 方 式	温水循環方式	
	給 排 気 方 式	強制給排気方式	
設 置 方 式	屋外据置型		
点 火 方 式	電子イグナイタによる連続放電点火式		
着 火 方 式	給 湯	ダイレクト着火(パイロットバーナー経由)	
	暖 房	ダイレクト着火	
外 形 寸 法	本 体	高さ1620mm×幅600mm×奥行420mm	
	メインコントローラ	高さ160mm×幅90mm×奥行28mm	
重 量	本 体	90kg(運転時約98kg)	
	メインコントローラ	0.2kg	
水 圧	使 用 水 圧	1kg/cm以上	
	作 動 水 圧	0.2kg/cm	
最低作動水量	給 湯	1段目 2ℓ/min以上、2段目6ℓ/min以上	
	暖 房	0ℓ/分以上(継続使用可能)	
ポンプ機外揚程	4.0mH <sub>2</sub> O(112/minのとき)		
温度制御方式	給 湯	電子コントロール方式による比例制御	
	暖 房	電子コントロール方式による制御	
温 度 調 節	給 湯	60℃一定 (50℃、55℃、65℃、70℃の切替端子付)	
	暖 房	OFF 89℃ ON 63℃	
給湯能力切替方式	1台運転と2台運転の自動切替+ガス比例制御		
操 作	遠隔操作		
メインコントローラ表示ランプ	給湯たね火ランプ(赤) 暖房燃焼ランプ(赤)		
安 全 装 置	給湯パイロット安全装置・暖房バーナー安全装置 空だき防止装置・空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ 過圧遮断・停電時安全装置・ファン回転検知装置・凍結防止ヒーター 流水スイッチ・誘導保護装置		
	最大220W(60Hz)		
	凍結防止ヒーター作動時：上記プラス96W		
接 続	ガ ス	PT1Bオネジ	
	給 水・給 湯	給水・給湯配管用20A継手付属(PF3/4)	
	暖 房	15A継手付属(PF3/4)	
	オーバーフロー	PT1/2Bオネジ	
	電 気	本体電源 AC100V 3芯(うち1芯アース用) メインコントローラ→本体 DC24V 6芯	
付 属 品	メインコントローラ(一式)・補給部品一式、配管用継手類一式		



## 仕様表②

品名 44-900

使用ガス グループ	型 式 名	1時間当たりのガス消費量(kcal/h)				標準出力(kcal/h)		
		全ガス 消費量	給湯ガス消費量		暖房 ガス消費量	能力最大時		
			最大	最小		給湯	暖房	
都市ガス	6 A	GS-R552D	55,000	47,600	6,800	16,400	39,000(26号)	13,500
	6 C	GS-R552D	55,000	47,600	6,800	16,400	39,000(26号)	13,500
	13A	GS-R552D	55,000	47,600	6,800	16,400	39,000(26号)	13,500
LPガス		GS-R552D	4.19 kg/h	3.57 kg/h	0.57 kg/h	1.23 kg/h	35,100 (23.2号)	12,100

●給湯能力の( )内は、水温+25℃上昇に換算した号数です。

## 長期間使用しない場合

必ずガス元せん・給水元せんを開め、電源プラグを抜いて、下記の処置を行なってください。

### 給湯側

8ページの(●水抜きによる方法)を参照のうえ、水抜きを行なってください。

### 暖房側

お買い求めの大阪ガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。調査のうえ必要とあれば不凍液を入れ替えさせていただきます。

## アフターサービスのお申し込み

### 点検・点検・修理)を依頼される前に

- 13ページの「故障、異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度確認してください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの大阪ガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けになるときは、次のことをお知らせください。  
(1)品名 (2)型式名(銘板表示のもの) (3)現象(できるだけ詳しく) (4)道順
- ご使用開始後、年に一度は点検をおすすめいたします。(長時間使用されずにした場合も同様です)(有料)

### 転居される場合

ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には部品の交換や調整が必要となりますので、お買い求めの大阪ガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

### 保証書について

この器具には保証書がついています

- 保証書はこの取扱説明書と同じポリ袋の中に入っております。
  - 保証書をお受取りになるときに販売年月日、販売店名、取扱印が記入してあることを確認してください。
  - 保証書に記載してあるように器具の販売後、器具に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに無料修理いたします。(詳しくは保証書をご覧ください)
- 【ご注意】  
保証書を紛失されますと、無料修理期間でありましても、有料修理となりますのでご注意ください。

## アフターサービスのお申し込み②

### 補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理についても、大阪ガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
- 当社は当製品製造中止後7年を基準に補修用性能部品を調達したうえ、修理によって性能が維持できる場合は有料修理いたします。
- 性能部品とはその製品の性能を維持するために必要な部品です。

### 連絡先

- 裏表紙の所在地および電話番号一覧表を参照してください。

### おねがい

ガスくさいときはお部屋のガス元せんを開め、窓を全開にしてから（火気に注意して）、大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

### 本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市東区平野町5丁目	☎大阪06(202)2221
南支社	〒557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪06(852)0001
北支社	〒532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪06(301)1251
堺支社	〒580 堺市住吉南町2丁目2番19号	☎堺0722(38)1131
北摂支社	〒569 高槻市蘇我の里町39番6号	☎高槻0726(71)0361
阪神支社	〒662 西宮市和上町4番11号	☎西宮0798(26)3101
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内0729(62)1113
京阪支社	〒573 枚方市西日客町16番17号	☎枚方0720(41)1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5丁目13番13号	☎神戸078(576)5031
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸御池南屋町318	☎京都075(231)8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良0742(44)1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1-1-1	☎和歌山0734(31)2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫路0792(85)2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町露津西一	☎加古川0794(21)1801
豊岡支社	〒688 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡0796(23)2221
湖南支社	〒525 草津市足形町字荒堀680の1	☎草津0775(52)5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12番11号	☎彦根0749(22)3131
長浜営業所	〒526 長浜市朝日町3番4号	☎長浜07496(2)7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ